

第1学年 道徳の時間 学習指導案

(女性の人権)

1 主題「知らない間に偏った見方をしていませんか」

2 人権課題のねらい（岐阜清流中校区共通／今年度、義務教育終了時を見据えて設定）

差別やハラスメント、不利益扱いなどの性別による人権課題があることを理解し、性別や様々な立場に関わらず、お互いに尊重して協力し合えるように関わろうとすることができる。

3 人権課題でつきたい力（岐阜清流中校区共通／今年度、義務教育終了時を見据えて設定）

項目	認識力	自己啓発力	行動力
規準	「女らしさ」「女の役目」のような性別による固定観念で批評することが差別につながることに気付く。	学校生活の役割分担などでも、同様な判断をしていないかを見つめて、その行動を改めようとするすることができる。	自他の言動に、性別によらない公平な関わり方をしていないかを考えて支援したり、行動したりすることができる。

4 本時の目標（上記の人権課題のねらいを授業内容に合わせて決める）

性別による人権課題があることを理解し、実際に起きた医学部入試における女子受験生への点数減点の問題の要因に迫る活動を通して、性別や様々な立場に関わらずお互いに尊重して協力し合えるように関わろうとする力を養う。

5 本時のつきたい力（上記の人権課題でつきたい力を授業内容に合わせて決める）

項目	問題解決につながる知識 (認識力)	自他を大切にする価値観および意欲 (自己啓発力)
規準	<ul style="list-style-type: none"> 「女らしさ」「女の役目」のような性別による固定観念で批評することが差別につながることに気付く。 「長く働ける可能性が高い男性を優遇するのは悪いことなのだろうか？」と問い返すことで、要因について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> この他にも身近なところで決めつけていないか立ち止まって、考えその行動を改めようとする。

6 その他（使用動画について）

ANNnewsCH「女子受験生を一律減点 東京医大が“意図的”調整(18/08/02)」

<https://youtu.be/ukvXPgoXMY?si=y0zYpTIKR2e1Xxu>

<動画内容の要約>

- ・東京医科大学では、医学部一般入試において「女子受験生に対して得点を一律で減点する」という不正な調整が行われていた。
- ・その目的は「医師として卒業後、結婚や出産で退職・離職する女性が多いことによる病院の人手不足を避けるためであり、女性の合格者数を全体の約3割に抑えることをねらっていた

とされる。

7 本時の学習活動

	学習活動	指導・援助・評価の観点
導入	1 前時の振り返り ○前回の講師の方の講話の感想交流 (女性問題に関する講話)	<input type="checkbox"/> 生徒の感想から課題化していく。
気付く	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">課題 女性の人権について考えよう。</div> 人権課題提示 YouTube「女子受験生を一律減点 東京医大が‘意図的’調整(18/08/02)」 https://youtu.be/ukVxPgoXMY?si=y0zYpTIKR2e1Xxu (1枚目 6その他 参照)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;">・「女らしさ」「女の役目」のような性別による固定観念で批評することが差別につながることに気付く。 (認識力)</div>
	行動へつなぐ	2 問題点を考える。 ・女性の受験者の得点を下げた。 3 原因を考える。 ・医師は男性の職業であるという古い考えが残っているから。 ・女性は出産で辞めていなくなってしまう人もいるから。 【男性を優先することについて考える】 ・人生のチャレンジの機会はずら平等であるべき。 ・先に得点下げをすることを明示したらどうか。 ・女性で働き続ける人もいるし、男性でも休む人もいる。 4 一般化する ・相手の立場に立って考えて発言する。 ⇨男なら泣くな。女子は体力がない。女子はピンク、男子は青。 ・先入観や決めつけで判断しないように正しい知識をつける。 →家事・育児は女性がする。制服がスカート。賃金格差。 5 今日の学習を通して考えたことを交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;">最初は、男性とか女性とかで決めつけたり、差別したりしていることはないと思っていたけど、今日の授業を通して、これは「男性」、これは「女性」となんとなく決めつけているところがあると学んだ。社会的にもまだ差別があることを知り、おかしいと思える自分でありたい。だからこそ、男性とか女性とか関係なく、その人がやりたいこと、自分がやりたいことを大切にできる人になりたいです。</div>